

下野市立古山小学校

1 学校課題

文章を解釈し、自分の考えを表現できる資質・能力の育成
～国語科の「読むこと」(説明的な文章)の指導を通して～

2 研究計画

(1) 主題設定の理由

本校では、昨年度は道徳科において自分の思いを伝え、話し合いを通して考えを明確にできる子どもの育成を研究してきた。今年度は、国語科の説明的な文章において基礎的・基本的な内容を読み取らせ、書く活動に繋げることで、自分の考えを表現できる資質や能力を育てたい。

(2) 研究の仮説

説明的文章を読む際に、言葉や文章構成などを手がかりに筋道を立てて筆者の考え(目的や意図、方法の工夫)をとらえることにおいて、自分の考えを相手に分かるよう表現できる指導方法を工夫すれば、論理的な思考力や日常生活で生きて働く力が育つであろう。

3 研究内容

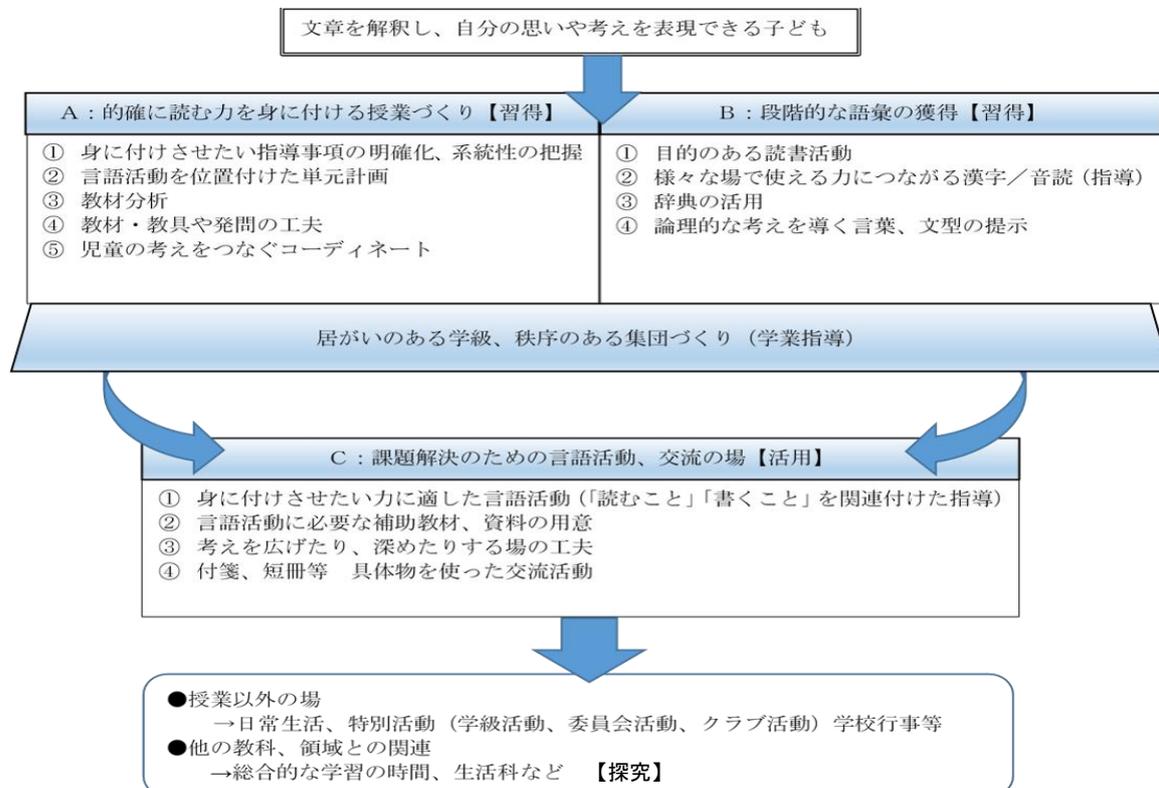
(1) めざす児童像に迫るための課題や具体的な手立て

〈めざす児童像〉

文章を読み、学んだことを活かして自分の考えを相手に分かるように表現できる子ども

〈めざす児童像に迫るための課題〉

- ア 的確に読むために必要な力を明確にし、児童が確かな知識や技能として習得できるような系統的な指導を行うことが必要である。
- イ 読みの力や考えの表現など学びを深めるために、書く活動との関連を図り、習得した「的確に読む力」を活用して課題解決のための言語活動を充実させる。
- ウ 相手に伝わるよう考えを表現するためには、目的のある読書活動を通して言語能力を支える語彙の段階的な獲得が必要である。



単元計画に沿ったつながりのある授業実践となるよう、研究授業(本時)だけでなく、その前後の授業についても授業研究を行った。

(2) 研究授業を通しての課題への取組

期日	学年・単元名	授業の工夫・手立て (重点的に取り組んだ手立て)	児童の様子
7/14	1年 「くちばし」 	A①、B②④、C① 「これは、一でしょう。(問い)」と「これは、一です。(答え)」という文型を、色分けして線を引かせたり、学習用語を掲示したりして基本的な説明文の読み方の理解を図った。また、クイズを作る言語活動に向け、これらを毎時間繰り返すことで説明文の基本的な表現方法の習得に努めた。	○見える情報と見えない情報を正確にとらえることで、基本的な説明文の読み方を学び、理解できるようになってきた。また、基本文型を使って楽しくクイズ作りに取り組む姿が見られた。 ○次単元「じどう車くらべ」では、本単元の学習で学んだことを生かして、内容を読み取っていきこうする姿が見られた。
9/12	4年 「世界にほこる和紙」 	A①②、B①③、C①② 教材の説明の仕方の工夫に気付かせるために、視覚的な教材の提示や発問を工夫した。また、学習したことを生かして、伝統工芸のリーフレット作りを行うため、児童が自由に資料や本を読むことができるように読書環境を整えた。	○既習内容を十分に生かし、段落相互の関係やその役割をとらえることができるようになってきた。 ○「読むこと」の学習を踏まえ、さらに読書環境を整えたことで、目的に応じ、必要な情報を選択しながら自分の表現活動に生かせるようになってきた。
12/3	5年 「想像力のスイッチを入れよう」 	A①②、B①④、C③④ 内容を正確に理解させるために、事例と筆者の主張を表に整理させた。また、自分の考えを「もつ」「広げる」「深める」ための思考ツールを使ったワークシートやグループ構成を工夫した。	○友達と自分の考えの共通点や相違点に着目し、自分の考えを広げたり深めたりする様子が見られた。 ○身近な事例を使うと自分の考えに説得力をもたせることができることに気付いていった。

4 本年度の成果と課題

(1) 成果

- 書く活動との関連を図り、児童に学習の見通しをもたせたことで、目的意識をもって主体的に取り組む姿が見られるようになった。
- 読書環境を整えたことにより、それらの本から得た情報と教材文で学んだ読み方を活用して自分なりの表現活動を進められるようになってきた。
- 各学年の指導内容や系統的な学習の重要性を理解し、把握したことで、身に付けさせたい指導事項が明確になり、「読むこと」の指導に生かすことができた。また、指導事項を明確にしたことにより、単元のねらいを達成するための単元計画や教材研究が充実してきた。さらに、学年やブロックで組織的な研究や研修が進められるようになった。

(2) 課題

- 多くの児童が自分の考えをもつことができるようになってきたので、より相手に伝わる表現ができるよう指導方法の工夫が必要である。
- 各学年で習得すべき学習用語を確実に身に付けさせるため、授業で活用できるような掲示物など、学習環境を整えていく。
- 目的のある読書活動を充実させるため、今後も学校図書の実や必要な資料の確保に努めていく必要がある。
- 表現活動を支える語彙力を高めるために、読書指導や言語環境を整える必要がある。